

平成26年度大南地区上空付近航空機騒音測定

大南地区上空付近を飛行する航空機の騒音の実態を把握するため、大南地区学習等供用施設屋上に航空機騒音測定機を設置し、年2回(14日間)、航空機騒音の測定を行っています。

航空機騒音測定結果

測定月日	* Lden (dB)	最大値 (dB)	騒音発生回数
7月28日	48.8	90.3	31
7月29日	50.3	88.0	54
7月30日	47.0	87.8	28
7月31日	50.6	91.3	27
8月1日	47.6	88.9	23
8月2日	35.7	82.4	2
8月3日	34.5	80.7	4
9月24日	52.6	97.0	48
9月25日	43.1	85.9	9
9月26日	49.9	94.3	40
9月27日	49.0	87.7	20
9月28日	54.3	91.3	23
9月29日	48.6	91.1	25
9月30日	44.7	85.0	16
合計			350
平均値	49.2		25

※ Lden(エルデン)とは、時間帯補正等価騒音レベルのことをいいます。単位はdB。最大騒音値を評価するWECPNLと異なり、1機ごとの航空機の騒音の聞こえ始まりから終わりまで、人が受ける騒音のエネルギーを評価するものです。また、旧環境基準のWECPNLでは、評価の対象とならなかった定常的な航空機騒音(エンジンテスト、滑走路への移動音等)も測定・評価することとなっています。